



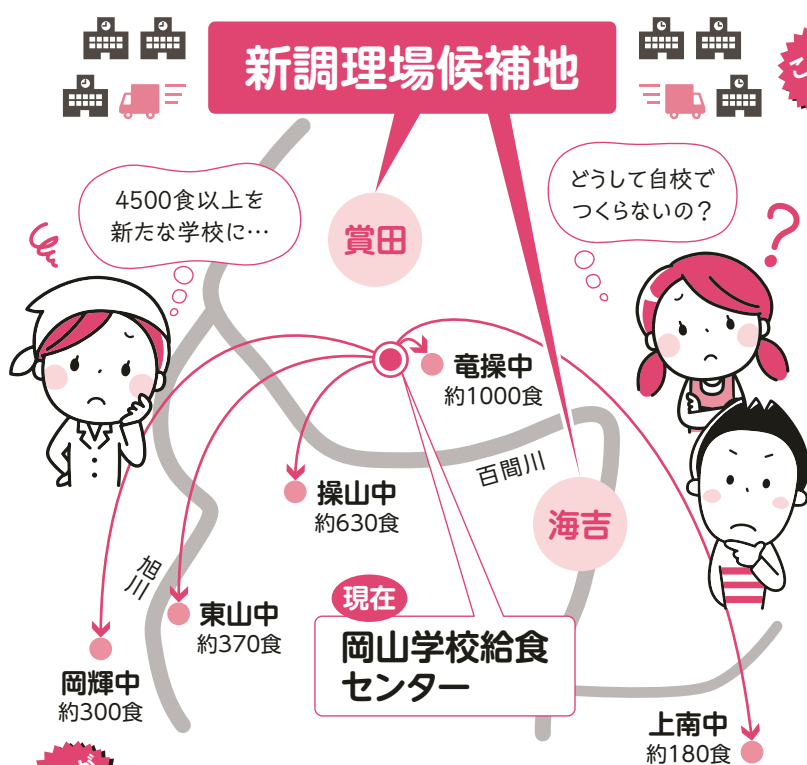
学校給食

ちょっと待った!

【議会報告】11 2019年
月定例

巨大調理場 7000食

岡山市が、学校給食を調理して周辺の小中学校に配送している給食センターのうち、岡山学校給食センター（中区赤田）の移転建て替え計画を明らかにしました。現在の5中学校約2500食分を3倍近くの7000食分程度に大幅拡大する計画で、2025年1月までの稼働開始をめざしています。



こんな計画

現行 2500食が7000食に

市は、現在のセンターが老朽化して建て替えが必要だとして、中区の賞田と海吉を移転候補地に挙げ、具体的な用地の選定を進めています。

民間委託を前提に7000食程度に大幅拡大させようとしており、増える約4500食分は、「30分以内に配送可能」「ある程度以上の規模」の条件で、新たな学校を選定します。

選定された学校は、現在の自校調理方式から給食センター配送方式に切り替えることになります。

なんで?

理由は「効率」「収益」

市は、規模拡大の理由を、民間業者にとって採算を取れるのが約7000食以上だからだと説明しています。民間業者が収益を上げるためとの視点で、子どもたちのためのものではありません。

ここが問題

民間委託自体も大問題

岡山市は、学校給食調理業務の民間委託を拡大させてきました。2020年度にはさらに中山小学校を加え、民間委託率は6割になります。

過去には操南中学校で委託予定業者が突然辞退し大混乱したことがあります。直営に戻すべきです。

ここが問題

子どもの安全は後回し

巨大調理場で調理して多くの学校に配送することは、衛生面、アレルギー対応、災害対応などの安全面や、食育や地産地消など多くの課題があります。児童、生徒のことを考えれば、むしろ自校方式を増やすべきです。